



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月26日

上場会社名 サンセイ株式会社
 コード番号 6307 URL <http://www.sansei-group.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小嶋 敦
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 阪田 芳弘
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6395-2231

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	5,714	1.1	676	23.4	670	31.9	460	81.6
2019年3月期	5,650	7.7	548	1.2	508	7.4	253	34.7

(注) 包括利益 2020年3月期 454百万円 (84.1%) 2019年3月期 246百万円 (36.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	59.30		13.4	10.7	11.8
2019年3月期	29.82		7.5	8.1	9.7

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	6,202	3,630	58.5	467.07
2019年3月期	6,371	3,268	51.3	420.59

(参考) 自己資本 2020年3月期 3,630百万円 2019年3月期 3,268百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	961	21	327	1,178
2019年3月期	280	213	179	566

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		12.00	12.00	93	40.2	2.9
2020年3月期		0.00		13.00	13.00	101	21.9	2.9
2021年3月期(予想)		0.00		13.00	13.00		33.7	

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,000	13.1	70	14.6	70	14.6	50	7.4	6.43
通期	5,100	10.7	450	33.4	450	32.8	300	34.8	38.60

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	8,987,700 株	2019年3月期	8,987,700 株
期末自己株式数	2020年3月期	1,215,874 株	2019年3月期	1,215,874 株
期中平均株式数	2020年3月期	7,771,826 株	2019年3月期	8,510,292 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	5,231	0.9	614	30.0	669	51.3	419	69.7
2019年3月期	5,182	6.3	472	17.2	442	18.0	247	35.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	53.97	
2019年3月期	29.05	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	6,043	3,536	58.5	455.06
2019年3月期	6,273	3,216	51.3	413.91

(参考) 自己資本 2020年3月期 3,536百万円 2019年3月期 3,216百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

その一方、長期化する米中貿易摩擦や英国のEU離脱による海外経済の不確実性に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、先行きは極めて不透明な状況が続きました。

当社グループの係わる建設業界におきましては、首都圏や主要都市における建設需要により、公共投資・民間設備投資ともに堅調に推移しているものの、人手不足や建設コストの上昇など課題は多く、厳しい事業環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの当連結会計年度の業績につきましては、受注高は5,197百万円（前年同期比1.9%減）となり、売上高は5,714百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

利益面につきましては、ゴンドラ・舞台部門の売上増加と生産効率化が相まって、営業利益は676百万円（前年同期比23.4%増）となりました。経常利益は670百万円（前年同期比31.9%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は460百万円（前年同期比81.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①ゴンドラ・舞台

当セグメントにおきましては、下半期における堅調な受注獲得の結果、受注高は3,657百万円（前年同期比5.0%増）となりました。受注の増加と受注残の順調な消化により、売上高は4,080百万円（前年同期比4.6%増）となりました。売上増加と生産効率化が相まって、セグメント利益は653百万円（前年同期比37.5%増）となりました。

②海洋関連

当セグメントにおきましては、例年並みの受注獲得となり、受注高は1,528百万円（前年同期比3.9%減）となりました。受注の減少に伴い、売上高は1,527百万円（前年同期比5.1%減）となり、セグメント利益は347百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

③その他

その他におきましては、年度を通して受注競争で苦戦をし、受注高は11百万円（前年同期比94.8%減）となりました。受注残を順調に消化することができましたが、受注が大幅に減少したことにより、売上高は107百万円（前年同期比23.6%減）となり、売上の減少に伴い、セグメント損失は2百万円（前年同期は7百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は6,202百万円となり、前連結会計年度末の6,371百万円から168百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が増加したものの受取手形及び売掛金並びに仕掛品が減少したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は2,572百万円となり、前連結会計年度末の3,102百万円から529百万円の減少となりました。これは主に短期借入金が増加したものの支払手形及び買掛金並びに長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）が減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は3,630百万円となり、前連結会計年度末の3,268百万円から361百万円の増加となりました。これは主に剰余金の配当があったものの親会社株主に帰属する当期純利益の計上があったこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は58.5%となり、前連結会計年度末の51.3%から7.2ポイント上昇しております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて612百万円増加し、当連結会計年度末は1,178百万円になりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、961百万円（前年同期は280百万円の使用）となりました。

これは主に、工事損失引当金の減少額が85百万円並びに仕入債務の減少額が322百万円となりましたが、税金等調整前当期純利益が667百万円並びに売上債権の減少額が433百万円となったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、21百万円（前年同期比191百万円減）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が35百万円となったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、327百万円（前年同期比147百万円増）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入が210百万円となりましたが、長期借入金の返済による支出が491百万円となったこと等によるものであります。

また、キャッシュ・フローに関連する各種指標は次のとおりであります。

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	57.8	51.3	58.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	51.9	46.4	37.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	3.5	—	0.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ	27.7	—	126.0

(注) 1. 各指標の算出方法は、次のとおりです。

自己資本比率 : 自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー / 利払い

2. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

3. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

4. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

5. 有利子負債は、連結貸借対照表上に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

6. 利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

7. 2019年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、今後のわが国経済において、日本国内のみならず、世界規模で拡大する新型コロナウイルス感染症による世界経済への長期的な影響が懸念され、景気の先行きは不透明さを増している状況にあります。

このような状況のなか当社グループは、グループ間の情報共有や人員連携をより一層強化するとともに、優秀な人材の獲得や技術力の継承、また、各種設備の更新に努め、グループ全体としての競争力強化に努める所存であります。

ゴンドラ・舞台では、グループ間の情報共有を強化し、顧客ニーズに対応できる技術開発の推進に努めます。

海洋関連では、さらなる顧客満足度の向上とともに、引き続き全国的な新規顧客の開拓を目指します。

その他では、技術力の向上を図り、より積極的な販売促進と受注活動に注力いたします。

次期（通期）の連結業績予想につきましては、売上高5,100百万円、営業利益450百万円、経常利益450百万円、親会社株主に帰属する当期純利益300百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（第7章及び第8章を除く）」（昭和51年大蔵省令第28号）に基づいて作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	570,910	1,183,431
受取手形及び売掛金	2,240,149	1,774,158
仕掛品	252,639	82,294
原材料及び貯蔵品	24,683	25,744
その他	64,918	30,883
貸倒引当金	△4,344	△2,167
流動資産合計	3,148,957	3,094,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	346,928	353,480
機械装置及び運搬具(純額)	289,142	225,356
工具、器具及び備品(純額)	19,825	15,722
土地	1,850,368	1,837,872
その他(純額)	3,148	2,355
有形固定資産合計	2,509,415	2,434,787
無形固定資産	36,689	31,163
投資その他の資産		
投資有価証券	232,451	221,693
繰延税金資産	123,845	81,211
その他	327,653	339,534
貸倒引当金	△7,983	—
投資その他の資産合計	675,967	642,440
固定資産合計	3,222,072	3,108,391
資産合計	6,371,030	6,202,736

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	994,891	668,343
短期借入金	280,000	330,000
1年内返済予定の長期借入金	486,504	45,754
未払法人税等	94,325	101,791
賞与引当金	113,252	109,686
工事損失引当金	214,000	128,895
その他	366,942	480,933
流動負債合計	2,549,915	1,865,404
固定負債		
長期借入金	229,402	388,648
繰延税金負債	7,291	—
退職給付に係る負債	252,008	267,554
その他	63,634	51,106
固定負債合計	552,336	707,309
負債合計	3,102,252	2,572,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	890,437	890,437
資本剰余金	104,015	104,015
利益剰余金	2,689,234	3,056,835
自己株式	△418,589	△418,589
株主資本合計	3,265,097	3,632,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,680	△2,676
その他の包括利益累計額合計	3,680	△2,676
純資産合計	3,268,777	3,630,022
負債純資産合計	6,371,030	6,202,736

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	5,650,237	5,714,889
売上原価	4,210,293	4,109,556
売上総利益	1,439,944	1,605,332
販売費及び一般管理費	891,720	928,665
営業利益	548,223	676,667
営業外収益		
受取利息	2,126	484
受取配当金	821	905
助成金収入	862	2,336
スクラップ売却益	—	968
その他	6,023	4,188
営業外収益合計	9,833	8,882
営業外費用		
支払利息	9,457	7,940
保険解約損	5,232	5,069
その他	35,020	1,882
営業外費用合計	49,710	14,892
経常利益	508,346	670,657
特別利益		
固定資産売却益	—	2,503
特別利益合計	—	2,503
特別損失		
減損損失	59,100	—
固定資産除却損	31,000	5,923
特別損失合計	90,100	5,923
税金等調整前当期純利益	418,246	667,237
法人税、住民税及び事業税	162,574	168,229
法人税等調整額	1,930	38,145
法人税等合計	164,504	206,374
当期純利益	253,742	460,862
親会社株主に帰属する当期純利益	253,742	460,862

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	253,742	460,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,849	△6,356
その他の包括利益合計	△6,849	△6,356
包括利益	246,892	454,506
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	246,892	454,506
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	890,437	104,015	2,525,210	△2,184	3,517,478
当期変動額					
剰余金の配当			△89,718		△89,718
親会社株主に帰属する当期純利益			253,742		253,742
自己株式の取得				△416,404	△416,404
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	164,023	△416,404	△252,380
当期末残高	890,437	104,015	2,689,234	△418,589	3,265,097

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	10,530	10,530	3,528,008
当期変動額			
剰余金の配当			△89,718
親会社株主に帰属する当期純利益			253,742
自己株式の取得			△416,404
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△6,849	△6,849	△6,849
当期変動額合計	△6,849	△6,849	△259,230
当期末残高	3,680	3,680	3,268,777

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	890,437	104,015	2,689,234	△418,589	3,265,097
当期変動額					
剰余金の配当			△93,261		△93,261
親会社株主に帰属する当期純利益			460,862		460,862
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	367,601	－	367,601
当期末残高	890,437	104,015	3,056,835	△418,589	3,632,698

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,680	3,680	3,268,777
当期変動額			
剰余金の配当			△93,261
親会社株主に帰属する当期純利益			460,862
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△6,356	△6,356	△6,356
当期変動額合計	△6,356	△6,356	361,244
当期末残高	△2,676	△2,676	3,630,022

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	418,246	667,237
減価償却費	84,365	94,636
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△33,924	△85,105
減損損失	59,100	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	16,545	15,545
受取利息及び受取配当金	△2,948	△1,389
支払利息	9,457	7,940
有形固定資産除売却損益 (△は益)	30,933	△2,503
無形固定資産除却損	—	5,923
売上債権の増減額 (△は増加)	△771,528	433,088
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△92,739	169,283
仕入債務の増減額 (△は減少)	181,898	△322,937
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△11,112	△10,286
その他	△25,684	155,605
小計	△137,391	1,127,039
利息及び配当金の受取額	4,641	2,983
利息の支払額	△9,675	△7,631
法人税等の支払額	△138,453	△160,986
営業活動によるキャッシュ・フロー	△280,878	961,404
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△381,279	△35,222
有形固定資産の売却による収入	221	15,000
有形固定資産の除却による支出	△31,000	—
投資有価証券の売却による収入	199,505	—
その他	△480	△1,627
投資活動によるキャッシュ・フロー	△213,033	△21,849
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	50,000
長期借入れによる収入	150,000	210,000
長期借入金の返済による支出	△21,504	△491,504
配当金の支払額	△89,808	△93,376
自己株式の取得による支出	△416,404	—
その他	△2,049	△2,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△179,767	△327,023
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	△10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△673,655	612,520
現金及び現金同等物の期首残高	1,239,666	566,010
現金及び現金同等物の期末残高	566,010	1,178,531

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社及び下関工場に生産・販売体制を基礎とした製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ゴンドラ・舞台」及び「海洋関連」の2つを報告セグメントとしております。

「ゴンドラ・舞台」は、窓拭き用ゴンドラ他類似製品、舞台装置の設計・製造販売・据付及び納入製品の保守修理事業並びに仮設ゴンドラレンタル事業、これらの付帯事業を展開しております。「海洋関連」は、船舶修理、魚礁・浮体式灯標の製作及び船員宿泊事業を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ゴンドラ・ 舞台	海洋関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,900,375	1,609,375	5,509,751	140,486	5,650,237
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	10,384	10,384
計	3,900,375	1,609,375	5,509,751	150,870	5,660,621
セグメント利益	475,004	375,431	850,436	7,240	857,676
セグメント資産	3,287,375	1,753,442	5,040,817	169,861	5,210,678
その他の項目					
減価償却費	19,466	63,091	82,557	104	82,662
減損損失	59,100	—	59,100	—	59,100
有形固定資産の増加額	8,299	319,210	327,509	—	327,509

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械の製造販売及びビル管理事業等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ゴンドラ・ 舞台	海洋関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,080,410	1,527,179	5,607,590	107,299	5,714,889
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,000	—	1,000	10,458	11,458
計	4,081,410	1,527,179	5,608,590	117,757	5,726,347
セグメント利益又は損失(△)	653,306	347,545	1,000,852	△2,674	998,177
セグメント資産	2,943,582	1,354,681	4,298,263	34,659	4,332,923
その他の項目					
減価償却費	18,352	74,669	93,022	66	93,089
有形固定資産の増加額	3,590	28,473	32,063	—	32,063

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械の製造販売及びビル管理事業等を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	5,509,751	5,608,590
「その他」の区分の売上高	150,870	117,757
セグメント間取引消去	△10,384	△11,458
連結財務諸表の売上高	5,650,237	5,714,889

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	850,436	1,000,852
「その他」の区分の利益又は損失(△)	7,240	△2,674
全社費用(注)	△309,453	△321,509
連結財務諸表の営業利益	548,223	676,667

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	5,040,817	4,298,263
「その他」の区分の資産	169,861	34,659
全社資産(注1)	1,395,687	1,949,797
その他の調整額(注2)	△235,335	△79,984
連結財務諸表の資産合計	6,371,030	6,202,736

(注1) 全社資産は、主に管理部門に係る資産であります。

(注2) その他の調整額は、セグメント間の債権債務の消去額であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	82,557	93,022	104	66	1,702	1,546	84,365	94,636
減損損失	59,100	—	—	—	—	—	59,100	—
有形固定資産の増加額	327,509	32,063	—	—	—	135	327,509	32,199

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
1株当たり純資産額	420.59円	1株当たり純資産額	467.07円
1株当たり当期純利益	29.82円	1株当たり当期純利益	59.30円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	253,742	460,862
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	253,742	460,862
普通株式の期中平均株式数(株)	8,510,292	7,771,826

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当連結会計年度末 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,268,777	3,630,022
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,268,777	3,630,022
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	7,771,826	7,771,826

(重要な後発事象)

該当事項はありません。